

交通を

# デザインしよう



山形の交通課題を考える会（交通勉強会）

日程：①10/4②11/1③11/15他  
場所：山形市総合福祉センター  
申込：裏面をご覧ください

交通は、住民だけではどうにもならない。でも行政に陳情するだけでは進まない。バス・タクシー等交通事業者の営業努力といっても限界がある。みんなで考えよう。頭を寄せ合って、山形らしい交通のあり方を。

セッション	回数	日程	内容
知ろう	第1回	10月4日（金） 13：30～ @山形市総合福祉センター 2階 交流ホール 及び同フロア内	<b>地域交通を考えるシンポジウム</b> 講演①「高齢者の移動手段を考える」 講師：全国移動ネット 副理事長 河崎 民子 氏 講演②「地域に対応した移動手段を開発した先進地事例」 講師：全国移動ネット 事務局長 伊藤みどり 氏 公開相談会 交通課題の解決に向け取り組んでいる滝平地区住民の方が、リアルに悩んでいる現状について、公開相談します。  同時開催：ポスターセッション 山形市内の移動支援に関する取組みについて展示します。 また、東北芸術工科大学の学生さんによる免許返納の啓発企画の展示も予定しています！
語ろう	第2回	11月1日（金） 14：00～ @山形市総合福祉センター 3階会議研修室1	①山形市の交通施策の方向性について 話題提供：山形市企画調整課 ②かしこい <b>バス</b> の使い方 話題提供：山交バス株式会社
	第3回	11月15日（金） 14：00～ @山形市総合福祉センター 3階会議研修室1	①山形市の高齢者に対する移動支援について 話題提供：山形市長寿支援課 ②かしこい <b>タクシー</b> の使い方 話題提供：山形地区ハイヤー協議会
デザインしよう	調整中	調整中	第3回までを踏まえ、自由に交通をデザインしましょう！ ※H30年度実施のパーソントリップ調査の分析等からモデル地区を選定し、実施する予定です。 アドバイザー：東北芸術工科大学 教授 吉田 朗 氏



企画：山形の交通課題を考える会

※「山形の交通課題を考える会」は、交通課題を自分ごととして捉え、解決しようとする人々《住民・福祉関係者・行政》が集い、自主勉強会を重ねてきた任意の会です。

問合せ：山形市社会福祉協議会

第1層生活支援コーディネーター  
山蔭 瞬（やまかげ しゅん）

TEL：023-674-0804 / FAX：023-645-9073

✉：kikan2@yamagatashishakyo.or.jp

# 「交通をデザインしよう」



## 目的

山形市全域の高齢者に関わる課題である移動支援について、住民・福祉関係者・行政・交通事業者等がバラバラに考えるのではなく、住民・福祉関係者・行政・交通事業者が集い、お互いのことを知り、アイデアを出し合い、山形市らしい今後の移動支援や交通資源のあり方を考えていくことを目的として開催します。

参加対象者 ※以下申込み欄にて、FAXもしくはメールにてお申し込みください。

- ①高齢ドライバーの免許返納が注目されているが、返納後の移動手段の確保も重要だと考えている方。
- ②自動車運転免許証の返納後の移動に不安を感じている方。
- ③自分の地域のこれからの移動支援を考えたい方。

アドバイザー紹介（本勉強会全体を通してアドバイスを頂いています。）



## 東北芸術工科大学 基盤教育研究センター長 吉田 朗 教授

長岡技術科学大学大学院 工学研究科博士課程エネルギー・環境工学専攻修了。工学博士。  
真に人間のために都市や地域がどうあるべきか。脱自動車社会を目指した「歩ける街」づくり、人間の生活や生態、社会に合った「人間都市」の空間デザインがテーマです。  
(東北芸術工科大学ホームページより引用)

- ・山形市公共交通活性化協議会 構成員 ・山形市地域公共交通会議 構成員
- ・平成30年度の山形広域都市圏パーソントリップ調査推進協議会の委員 等を歴任。

## 山形の交通課題を考える会参加団体紹介

## ひとくち説明

やまがた福祉移動サービスネットワーク	「移動の自由は基本的人権」との考えのもと、すべての市民へ安心安全な移動手段を提供することを目的に活動しています。主に移動サービス実施団体への支援、施設送迎や福祉有償運送のドライバー講座を実施。また、交通課題に取り組む地域の自主勉強会やアンケート調査への協力を行っています。
山形市企画調整課	山形市の交通施策の担当課です。コミュニティバスやバスの補助路線等も担当しています。
山形市長寿支援課	山形市の高齢者施策の担当課です。地域包括支援センターや生活支援コーディネーター※も担当しています。
山形市社会福祉協議会 (略称：山形市社協)	『誰もが安心して暮らすことができる福祉文化のまちづくり』を使命に、地域福祉を推進する民間の福祉団体です。ふれあいいきいきサロンや地区社協の運営といった、住民福祉活動を支援しています。
生活支援コーディネーター※ (第1層と第2層がある。第1層=山形市全域、第2層=地域包括支援センターの圏域に順ずる)	山形市から山形市社協が委託を受け、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、地域の支えあいを充実させるための活動を支援しています。第1層(左記参照)が本勉強会の呼びかけ人。
その他、交通課題に取り組む、地域の方や地域包括支援センター、福祉団体等が参加しています。	

## 参加申込み欄

FAX：645-9073（担当：山蔭）

氏名				所属(あれば)		
☎電話				✉メール	@	
住所						
参加に○	シンポジウム (10/4) 定員100名	○	第2回 (11/1) 定員40名	○	第3回 (11/15) 定員40名	○ 第4回以降は改めてご案内いたします。

令和元年度山形の交通課題を考える会「交通をデザインしよう」

※ご記入いただいた個人情報は、交通勉強会以外には使用しません。